財政の巨人幕末の陽明学者・山田方谷

<http://ftown.boo.jp/takahashi/houkoku/Image7.gif>

著者：林田明大著

出版：三五館

サイズ：四六判 / 286p

ISBN：4-88320-097-3

発行年月：1996.12

本体価格：\1748

この本を注文する

政治的にも経済的にも揺れ動いていて、先の見えない時代、民衆は不安におののき、的確な政治を施す山田方谷に「神」をみた。地元の岡山から、中央からも各地からも請われた、19世紀の陽明学者の生涯を描く。

貴いところ・開かれた眼・創り直す力・そして積極的な意志。陽明学研究の俊英が遂にまとめ上げた「日本一の財政家・名参謀・軍略家」の生涯。上杉鷹山を超える歴史のスターに識る「新しい日本人」。

【目	次】
第1章 朝四時から働けという家訓 / 第2章 学問と修業の日々 / 第3章 天の实在を知る / 第4章 陽明学者・ <u>大塩平八郎</u> / 第5章 陽明学の神髄は誠なり / 第6章 方谷、藩政大改革に立つ / 第7章 「領民第一主義」の事業 / 第8章 借金の額だけ蓄財を果たす / 第9章 「維摩経」を奉じる / 第10章 高弟・ <u>河井継之助</u> / 第11章 論文「理財論」を世に問う / 第12章 参謀の姿勢 / 第13章 自国の守り / 第14章 方谷、田園に帰る / 第15章 陽明学による人材育成	